

北海道置戸高等学校教育目標

自ら考え、自ら律し、自らを創る人間を目指し

- 1 広い視野に立って考え、正しい判断ができる生徒に
- 2 向上しようとする意欲をもち、根気強くやりぬく生徒に
- 3 規律を重んじ、良識と責任をもって行動する生徒に
- 4 健康で明るく、たくましい体と豊かな心をもつ生徒に

(昭和56年4月1日制定)

(重点目標)

- 1 人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う生徒の育成
- 2 専門的な知識・技能の深化、統合化を図り、自ら課題解決できる生徒の育成
- 3 早期に進路意識を確立し、自己実現に向けて意識的に挑戦する生徒の育成
- 4 互いに敬愛し、思いやりの心を持って行動する生徒の育成
- 5 心身の健康維持と自他の生命を尊重する生徒の育成

(目指す学校像)

- 1 保護者や地域から信頼され、積極的に選ばれる魅力ある学校
 - 2 入学した全ての生徒が、自分の夢や希望を叶えることができる学校
 - 3 各々のキャリアで活躍するリーダーを養成する学校
- このことを実現するため、すべての教職員が自律的に意識改革と資質向上に努め、次の3つの事項を基軸として一丸となって教育実践に邁進する。

- | | | | |
|-----------|--------|-------------|--------|
| (1) 「透明性」 | ①情報発信 | ②教育活動の公開と評価 | ③情報の共有 |
| (2) 「協働性」 | ①相互理解 | ②情報交換 | ③業務分担 |
| (3) 「迅速性」 | ①業務の精査 | ②効率化 | ③柔軟性 |

(目指す生徒像)

超高齢社会を見据えて、「謙虚」な心を持ち、「気配り」のできる、コミュニケーション力を培った、持続可能な福祉社会を担う人材。

(学校経営の方針)

- 1 学習習慣の定着を図り、主体的に学習する能力を伸長させる教育の推進
 - (1) 基礎・基本の徹底
 - (2) 授業力の向上
 - (3) 生徒理解の充実
- 2 生徒の豊かな心と健康な体を育成する教育の推進
 - (1) 教育相談体制の充実
 - (2) 生徒指導の充実
 - (3) 特別活動の充実
- 3 地域や保護者と連携及び協働し、社会に開かれた学校づくりの推進
 - (1) 情報発信の充実
 - (2) 外部評価の活用
 - (3) 地域連携の充実
- 4 教職員の資質の向上と勤務時間を意識した働き方の推進
 - (1) 法令順守と研修の充実
 - (2) 速やかな報告・連絡・相談
 - (3) 健康管理・時間管理の徹底
- 5 ICT等を活用した学校づくりの推進

(サービス・学校運営に関する対応等)

- 1 サービス規律の厳正な保持に努める
 - (1) 法令遵守
 - (2) 個人情報管理の徹底
 - (3) 体罰の防止
 - (4) 交通安全の徹底
- 2 福祉科単置校としての安定した学校運営に努める
 - (1) 福祉科教員加配措置の継続要望
 - (2) 置戸町や置戸高校支援対策協議会との連携強化
 - (3) 他の高等学校、小・中学校、上級学校、及び道内外の関係機関等との交流・連携